

支所発地域力向上支援金 事業評価(小田切支所)

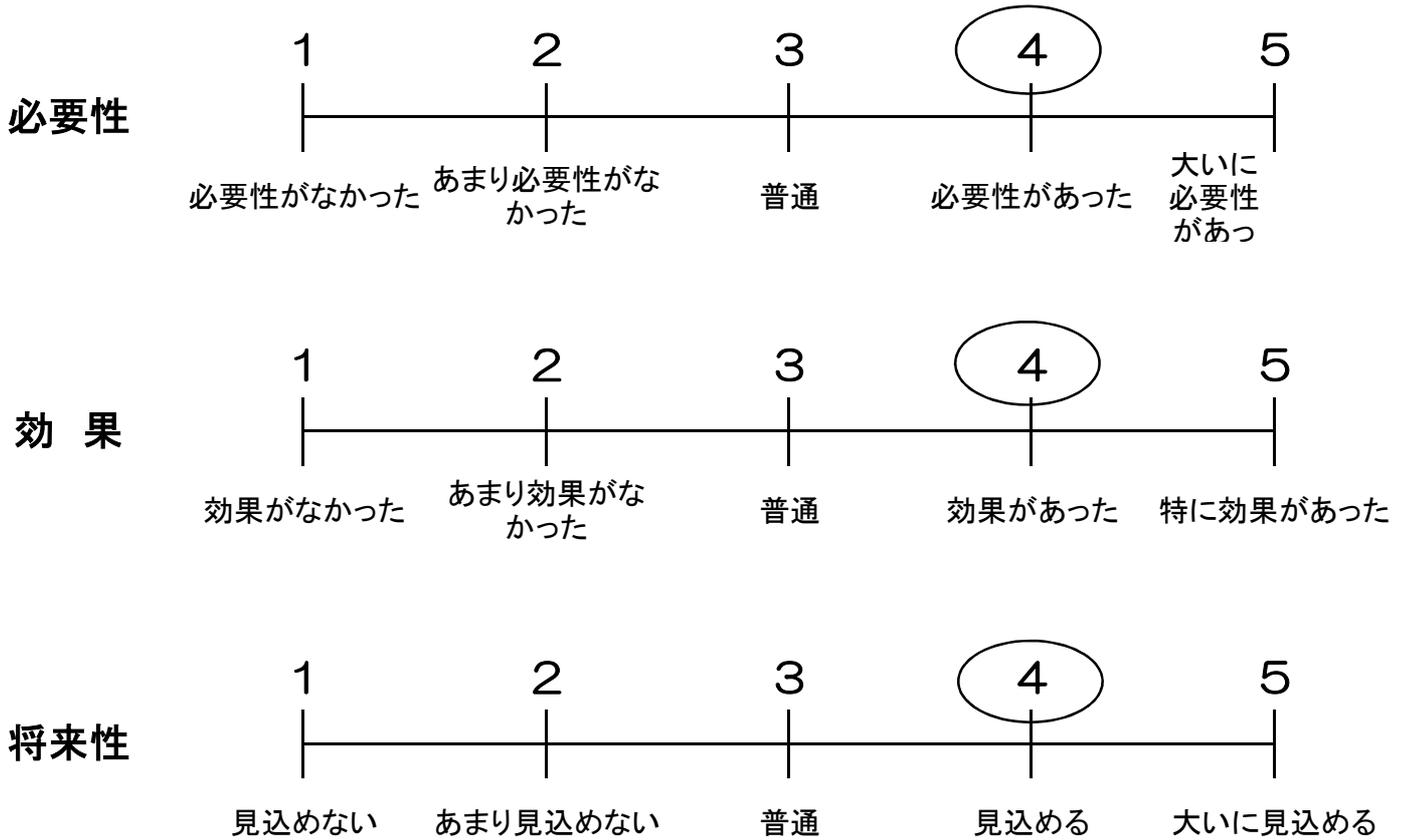
令和3年12月28日

事業名	長沼水害復興支援専用農場の環境整備
------------	-------------------

団体名	特定非営利活動法人 小田切オアシス
------------	-------------------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	その他活動
-------------	--------------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

小田切地区では、令和元年東日本台風で被災した長沼地区を支援するため、令和2年3月にNPO・住自協・支所・交流センターの4者による「長沼水害地区復興支援プロジェクト」を立ち上げ、農作物を提供する支援活動を行っており、本事業の申請団体は本プロジェクトの実施主体として、専用農場の維持管理と農作業全般を担っている。

このプロジェクトは、単に農作物を提供するだけでなく、現地での種蒔きや収穫などの農作業を長沼地区の方と共に行うことで、申請団体の通常活動とは別の本プロジェクトのための作業であることをご理解いただき、農作業を通じた地域間交流を深めることにある。

しかしながら、専用農場の場所が分かりづらいため案内表示が求められていたことに加え、申請団体の構成員は少人数かつ高齢のため作業負担を軽減するための機械導入も求められていた。

本事業により、昨年度は共同作業のたびに求められた道案内もほとんど必要なく、専用農場維持管理のための作業負担も軽減できたことは、事業の効果として認められる。

プロジェクトを通じた交流も定着しつつあり、本事業により負担軽減が図られたことから、次年度以降も農作業を通じた地域間交流の継続が期待できる。

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和3年12月28日

事業実施地区	小田切地区
事業名	長沼水害復興支援専用農場の環境整備
団体名及び 代表者名	(団体名) 特定非営利活動法人 小田切オアシス (代表者名) 理事長 酒井昌之 (連絡先) 026-229-3264

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

<ul style="list-style-type: none"> ・専用農場への道路脇（主に分岐点）に看板を設置 選考委員会の助言を踏まえ、当初の設置予定より設置数を削減した ・草刈り用の小型農機具を購入 ・主な農作業 6/9（枝豆の種蒔き）、6/28（除草）、8/12（枝豆収穫、贈呈） 8/30（野沢菜の種蒔き）、9/22（除草）、11/27～12/17（野沢菜収穫） 	【事業完了日】 令和3年12月17日 【総事業費】 227,000円 【補助金額】 227,000円
---	--

※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・看板を設置したので他地区の方々が迷わずに農場へ来てもらえ、交流事業もアピールできた。 ・草刈り機での作業により、負担が少なく効率が上がり、収穫も上々であった。 ・小野平地区の農場では、長沼復興支援のほかにアマラビや野沢菜の収穫ツアーも行っているが、看板の効果もあり来訪者が増えた。 ・長沼地区との交流はテレビでも数回放送され、小田切地区の活動を広く知ってもらえた。
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容			○	
事業の効果			○	
特記事項 (評価理由等)				

■今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> ・長沼地区水害復興支援小田切プロジェクトは来年以降も継続して活動する。 ・農機具を活用して負担を軽減して、作業効率を高めて、より多くの収穫を目指す。 ・長沼地区からの参加は、新型コロナウイルスの影響もあり、昨年と今年は子供たちのツアーが中止となって、地区の役員に限られてしまったが、来年は子供たちにも参加してもらい小田切の農業を体験してもらいたい。
--



対象外事業







